

Press Release

大学におけるグローバル人材育成の様々な取組みで 教育支援システム「マナバ」の導入・活用が広がっています

株式会社朝日ネット(東証一部、本社:東京都中央区、代表取締役社長:土方次郎、以下「朝日ネット」)は、全国の大学が積極的に取り組むグローバル人材の育成において、平成 24 年度に複数大学から教育支援システム「マナバ」をご導入いただきました。

日経産業新聞(1面)に「マナバ」が取り上げられました(2013年 8月 8日)

<http://t21.nikkei.co.jp/g3/CMNG012.do?r=xw9an11502&ls=30029124-1>

昨今、大学ではグローバル社会で活躍できる人材を輩出するために、実践的なグローバル人材を育成するための取組みや、その環境整備に注力しております。平成 24 年度におきましては、『大学の世界展開力強化事業』や『グローバル人材育成推進事業』など、文部科学省による重点的な財政支援も実施されております。

「マナバ」をご導入いただきました大学では、特色ある様々な取組みを展開しております。主には、次の用途でご活用いただいております。

- 大学教職員、事務局からの情報発信、レポートやアンケートの実施・回収
- 個別指導やアドバイジング
- ポートフォリオに学習物や提出物などの蓄積
- ポートフォリオに蓄積したデータを外部 SNS 等に情報発信
- 大学や国の枠を越え、各種プログラムや留学協定校などとのコミュニケーション
- TOEIC や TOFEL などの各種語学スコアを管理
- 留学の記録や海外の活動を管理
- 蓄積された情報の統計

今後も朝日ネットは、「マナバ」の提供及びサポートを通じて、グローバル人材育成に取り組む大学に対して、より一層の貢献をしてみたいと考えております。

【グローバル人材育成の取組みによるマナバ導入実績(抜粋)】

東北大学、埼玉大学、山口大学、九州大学、国際教養大学、愛知県立大学、
明治大学、中央大学、東洋大学、昭和女子大学、同志社大学、立命館大学

『大学の世界展開力強化事業』について（日本学術振興会サイトから引用）

世界に雄飛する日本として誇れる人材の育成を目指し、国際的な枠組みで、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受入を行うアジア・米国等の大学との協働教育による交流を行う事業に対して、重点的に財政支援することを目的としています。平成24年度は、これまでの「日中韓のキャンパス・アジア」や「米国、欧州等との交流事業」に加え、ASEAN地域との交流の拡大を支援し、大学の世界展開を促進します。

<http://www.jsps.go.jp/j-tenkairyoku/>

『グローバル人材育成推進事業』について（日本学術振興会サイトから引用）

グローバル人材育成推進事業は、若い世代の「内向き志向」を克服し、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化の基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる「人材」の育成を図るため、大学教育のグローバル化を推進する取組を行う事業に対して、重点的に財政支援することを目的としています。

<http://www.jsps.go.jp/j-gjinzai/>

教育支援システム「マナバ」

「マナバ」は、日米を中心190以上の機関で利用されています。



「マナバ」とは、「シンプル・かんたん・そして安心」をコンセプトに朝日ネットが企画・開発を行い、インターネット上に学びの場を提供するクラウドサービスです。「マナバ」はインターネット環境を活用することで、時間や場所を選ばず効果的な学習環境を構築いたします。

<http://manaba.jp/>

<報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社朝日ネット 経営企画室 TEL 03-3569-3835

<商品・システムに関するお問い合わせ先>

株式会社朝日ネット 営業二部 TEL 03-3569-3010

以上